

# 獨協医学会

会 長 稲 葉 憲 之 (獨協医科大学学長)

## 運営委員会委員

旗持 淳*	石光 俊彦**	秋山 一文	阿部 七郎	安西 尚彦
石井 芳樹	黒須 明	桑島 成子	小島 勝	小嶋 英史
小林 哲	鈴木 純恵	田中 康広	千種 雄一	土岡 丘
中元 隆明	西山 緑	濱口 眞輔	春木 宏介	平林 秀樹
前川 正夫	緑川由紀夫	宮本 智之		

\*委員長 \*\*副委員長

## Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	阿部 七郎	安西 尚彦	石井 芳樹
小島 勝	田中 康広	濱口 眞輔		

\*委員長 \*\*副委員長

## 編集事務員

鯉沼 行子

## 編 集 後 記

Dokkyo Journal of Medical Sciences Vol.41, No.2の発行にあたり、読者ならびに獨協医学会の会員の皆様にご挨拶を申し上げます。本号には原書2編（うち英文1編）、症例報告2編の計4編の論文に加え、平成25年12月7日に開催された第41回獨協医学会の抄録が掲載されています。例年この時期は論文数が少なくなっていますので、会員の皆様には是非積極的に日頃の研究成果や臨床経験の成績をご投稿頂きたくお願い致します。

2014年4月に日本人間ドック学会が数十万人のデータから様々な検査値について新しい基準値を示し、これが従来それぞれの専門分野の学会などで設定された数値とはずれるがあるため一般的に混乱を生じているようです。血圧に関しては、上限が147/94mmHgと日本ならびに諸外国の高血圧関係の学会が高血圧の診断基準としている140/90mmHgよりも高いレベルが示されています。これは両学会で正常値を決めるプロセスおよび考え方が異なることにより生じたギャップであり、それぞれの基準がもつ意義も異なるものであると思われます。

そもそも、正常と異常とは相対的な概念であり、その境界を学術的に明示することは必ずしも容易ではありません。広辞苑で「正常」を引くと「他と変わった所がなく普通であること」とかなり曖昧と思われる説明が記されています。そして「異常」を引いても「通常とは違っていること」と曖昧であることに変わりはありません。基本的に、何が普通、通常であるのか、何が変わっているのか、ということが明らかに示されていません。同じ様に相対的な概念である右と左について、近年の日本の「舟を編む」という映画では辞書を作成する過程が描かれており、その中で「右」は「南を向いた時、陽が沈む方向」、「左」は「南を向いた時、陽が昇る方向」とされたとのことです。苦慮された結果の説明であるとは思われますが、よく考えるとこの決め方は地球上においてしか成り立たず、例えば月面など宇宙空間においても右左は存在す

るものの、この定義は通用しなくなります。それではどのように説明するのがよいかとなると、誰もが明快な答えを出すのは難しい所であると思われます。

検査データの正常値、異常値を決めるに際しても何を根拠として考えるかということが重要であり、これにより設定された基準値が実地医療においてもつ意義も影響されます。人間ドック学会は基本的に現時点で疾患を診断されたり治療を受けておらず正常と思われる人々のデータの平均 $\pm 2SD$ とするというような考え方で基準値を設定しており、疫学的に現状、実態を把握する上で重要かつ貴重な情報ではありますが、対象者が5年後、10年後にどれくらい疾患を発症するリスクがあるかということは考慮されていません。血圧について言えば、血圧と心血管疾患の発症リスクと間には140/90mmHg未満の領域においても直線的な比例関係があることが疫学的な追跡調査により示されています。そして、ランダム化比較対照試験における介入の結果、目標血圧を140/90mmHg未満として降圧薬治療を行うことにより、有意に心血管疾患の発症が抑制され予後が改善することが示されています。これに対し、疫学的な観察研究によれば、前述したように、より低い血圧レベルの方が心血管疾患の発症リスクが低いのですが、140/90mmHgより低い、例えば130/85mmHg未満を目標としたようなランダム化比較対照試験では必ずしも有意な成績が示されておらず、降圧目標あるいは高血圧、正常血圧の基準とするにはエビデンスが不十分であると判断されています。さらに、1件の心血管イベントを抑制するために治療されるべき高血圧患者数（NNT：number needed to treat）やそれに要する医療費など医療経済的な面も考慮された結果140/90mmHgという基準値が設定されています。

Dokkyo Journal of Medical Sciencesの編集にあたりまして、学術的な見地から掲載される論文の意義を評価するという基準を見失わないことが医学学術誌の発行を継続する上で重要なことであると考え次第です。（石光俊彦）

2014年7月20日印刷

第41巻 第2号

2014年7月25日発行

編集発行人

獨協医学会

稲 葉 憲 之

発 行 所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地  
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136